

ドクターヘリ導入に向けた検討状況

1 平成 25 年度第 1 回救急医療協議会報告内容

「仙台でドクターヘリ事業を展開し、基地病院は仙台医療センターと東北大学病院とすること。格納庫、給油設備は仙台医療センターに整備する方針とすること。」

2 現在の検討状況

- 平成 25 年度第 1 回救急医療協議会開催後に、ドクターヘリの導入に向けて、両基地病院と県により「運航要領」、「運航委託仕様書」、「運用調整委員会」の案を作成し、宮城県ドクターヘリ導入懇話会へ諮った。

(1) 運航要領【資料 9 - 2】

- ・ 運航時間や運航範囲などの運航方法や出動要請の基準、出動の手順などを定めた「運航要領」の案を提示。
- ・ 内容のうち、両基地病院の協力体制については、各病院における救急診療機能への影響を少なくするという観点から日交代とした。なお、具体的な分担については、仙台市立病院の協力方法も含めて、運航開始直前の状況を踏まえて決定。
- ・ 本案を基本に、今後、具体的な出動要請基準などを中心に、運用調整委員会の中で検討していくこととされた。

(2) 運航委託仕様書

- ・ ドクターヘリの運航委託業者の決定の際に必要な「運航委託仕様書」の案を提示。文言修正の上、決定された。
- ・ 仙台医療センター（基地病院間の調整の結果、本県におけるドクターヘリ事業の事務局として決定）が、本仕様書により運航委託契約の事務手続きを進めていくこととなった。

(3) 運用調整委員会【資料 9 - 3】

- ・ 国庫補助事業である本事業では、運航調整委員会を設置し、本事業の実施、運営に関する必要事項に係る調整を行う必要があるが、その構成案を提示。
- ・ これまで、ドクターヘリの導入に当たって御意見をいただいていた宮城県ドクターヘリ導入懇話会の委員を基本としつつ、実際の運航を見据えて、県内全消防本部、警察本部、国土交通省仙台空港事務所からの委員を加えることとした。

3 今後の予定

- 平成 26 年度当初に第 1 回宮城県ドクターヘリ運用調整委員会を開催し、ドクターヘリと消防の合流地点であるランデブーポイントの選定や具体的な出動要請基準の検討を開始する予定としている。
- 運航開始時期については、格納庫やヘリポートの設備整備の時期を、基地病院である仙台医療センターの病院本体の移転・新築工事のスケジュールに合わせて実施することとし、できるだけ早期の運航開始を目指すこととしている。